

情報メディアを活用した情報発信による普及活動 ～農業者の課題解決のためのきっかけづくり～

(情報)

1 活動の背景

情報発信のあり方が多様化

インターネット、スマートフォン、SNSなどの普及により、情報がどこでも入手できる情報社会のなかで、情報発信のあり方が多様化。

↑ ↓ ニーズに合った情報発信が必要

さまざまな情報ニーズ

経営形態、生活様式、年齢、性別などにより農業者の情報ニーズも多様化。求められる情報メディアもさまざま。



普及センターにおける情報発信とその目的

情報発信の目的は、農業者への動機付けであり、課題解決のためのきっかけづくり。

普及センターとしての情報発信のあり方

普及側の目標（農業者への動機付け【課題解決のためのきっかけづくり】）を達成するため、より農業者のニーズをとらえたものとして発信したい！

2 活動の内容

普及センターでの情報発信活動 (平成28年度)

活動内容	回数	情報の区分		
		地域情報	技術情報	統計情報
情報担当者会議の開催 ・年間の活動計画を検討	1			
J A広報誌（技術のコーナー）の作成	12		★	
普及センターだよりの作成・発行	1	★	★	
・編集会議の開催	2			
営農改善資料の作成・発行	1		★	
・編集委員会の開催	6			
・編集会議の開催	3			
・研修会等での情報提供	随時			
ホームページによる情報提供	随時	★	★	★



情報担当者会議



営農改善資料の編集委員会



営農改善資料の編集会議

情報発信

- 地域情報・普及活動PR
(情報メディア) ホームページ・普及センターだよりの
- 統計情報 (生産乳量・土壤凍結・農作物生育状況・収量)
(情報メディア) ホームページ
- 技術情報
(情報メディア) ホームページ・JA広報誌・営農改善資料

動機付け

情報発信の体制と方法

情報担当者が編集リーダーとなり資料作成は職員全員で対応

3 活動の成果

ホームページ、普及センターだよりを活用した地域情報・統計情報の発信（平成24～28年）



地域情報はホームページにも掲載



普及センターだより
(1回/年 発行)
(ホームページにも
掲載)

- ★地域の動き、農業者の工夫や取り組み、普及センターの活動などを広く紹介。
- ★「ホームページを見たんだけど・・・」との問い合わせも普及センターへ寄せられる。

関係機関と連携した技術情報の発信（平成24～28年）



営農改善資料の発行（ホームページにも掲載）



平成28年度に発行した営農改善資料「乳房炎を予防しよう」見える化ポスター（ダイジェスト版）を処理室などに貼って活用！



JA広報誌に掲載している普及センターからの技術情報（ホームページにも掲載）



営農改善資料を活用して講習会を開催
(写真は農業の担い手を対象とした講習会)

- ★生産現場での調査研究活動で得た知見や事例を多く取り入れることで、より地域のニーズに合った情報提供を行っている。
- ★作成した資料は日常の普及活動にも活用。

- ★営農改善資料は、道内、他府県の農業者、農業高校、各機関からも入手希望の問い合わせが多く寄せられている（年間30件程度）。

4 今後に向けて

- ★農業者が手にとって見たいような斬新なアイデアと忙しいなかでも一目で内容が理解できる情報提供につとめる。
- ★「かゆいところに手が届く情報」を意識し、より一層の生産現場での活用を促進する。